

第四回・新春

浦安川柳大会

令和四年二月十九日（土）

（誌上大会）

ご挨拶

城野けんじ

第四回新春浦安川柳大会の開催を予定したところ今年も誌上大会の開催となりました。四十一名のご投句を頂きまして本当にありがとうございました。

本来ならば浦安市民音楽ホールにて大々的に川柳大会を開催するところ、コロナ第6波によりやむなく誌上大会となりました。

それぞれ七名の選者により選句いただきましたが各課題に秀句が多く選者泣かせだったと聞き及びます。川柳の句会も休止か誌上大会になっている句会が多いと聞き及びますがコロナに打ち勝ち川柳人生を満喫してまいりたいと存じます。

コロナに負けず明日に向かって皆で頑張ってまいりましょう。令和四年四月吉日

選者紹介

課題 「うきうき」

佐藤 公江選 (うらやす川柳会・講師)

(カレッジ川柳会・講師)

塩見 和昭選 (浦安とみおか川柳会)

課題 「ラスト」

佐藤 青樹選 (浦安とみおか川柳会・講師)

三浦みちえ選 (浦安とみおか川柳会)

課題 「優しい」

高田 文子選 (うらやす川柳会)

山岸 順選 (うらやす川柳会・カレッジ川柳会)

(浦安とみおか川柳会)

課題 「捨てる」

矢嶋もと之選 (うらやす川柳会)

青べか賞

課題「優しい」

ひらがなの言葉で母は子を諭す

森山 裕子

課題「うきうき」

ルンルンを詰めて閉まらぬ旅かばん

光永ひかる

準賞

課題「ラスト」

シヤルウイダンス ラストダンスはやはり妻 村上たけし

課題「ラスト」

還暦で少し恋してそれつきり

鈴木 淳三

「うきうき」

佐藤 公江選

久しぶりエンジン音も嬉しげに

秀 真田 宣子

やったわよと三回接種自慢げに

福田 次郎

老梅へ私も咲くわ負けないで

山口しだれ

妻は留守ネオン街へと飲みに出る

吉田 貞恵

眠られぬ明日が再婚見合いの日

城野けんじ

待ち切れず部屋ぐるぐるとランドセル

水沢 京子

愛犬とポカポカ散歩春はそこ

山口しだれ

雪が解け河原に芽吹く露のとう

谷口 勝

信号も味方している初デート

水沢 京子

新しい彼失恋を忘れさせ

山岸 順

軽快なリズムスマホのタッチペン

三浦みちえ

春を待つ庭のサンダル新しく

光永ひかる

初孫を抱けるその日を待っている
無人駅降りて君待つ宿へ着く
旅支度妻の鼻歌止まらない
樹木葬サクラ舞い散るボクの上
柝が入り暮がふくらむ三味の音
義理チョコをアイラブユーと勘違い
春色のスーツが似合うつぼみ達
手料理へ頭めぐらす子の帰省
老春の真つ赤なバラに一目惚れ
春雨に相合傘で京の町
虹を見た明日は良い事起りそう
サークルのダンス待たれる老いの恋
明日逢える鏡の中の赤い服

松原 松代
高田 文子
吉田 貞恵
村上たけし
澤木 雀空
佐藤 青樹
片柳 流里
矢嶋もと之
磯崎ひろこ
谷口 勝
両角 節児
佐藤 青樹
森山 裕子

おはようと交わすだけでも温くなる

「客」

矢嶋もと之

初デートおニユートの靴も照れている

萱野 澄る

朝摘みの皿のいちごが踊り出す

片柳 流里

夢ひとつ抱いて少女は蝶になる

森山 裕子

特大のエビ天踊る子の帰省

高田 文子

祭り好き笛や太鼓が呼んでいる

「人」 磯崎ひろこ

ハミングが思わず出ちやう空の青

「地」 矢嶋もと之

ルンルンを詰めて閉まらぬ旅かばん

「天」 光永ひかる

「うきうき」

塩見 和昭選

サークルのダンス待たれる老いの恋

「秀」 佐藤 青樹

愛犬とポカポカ散歩春はそこ

山口しだれ

チョコの質より数が自慢の管理職

福田 次郎

義理チョコをアイラブユーと勘違い

佐藤 青樹

春を待つ庭のサンダル新しく

光永ひかる

春雨に相合傘で京の町

谷口 勝

ミステリー行き先知らず旅の人

松谷のん記

ヘアカット君の反応帰り待つ

山口しだれ

妻は留守ネオン街へと飲みに出る

吉田 貞恵

初夢は富士より高い表彰台

岡田 茉莉

迷つた服にセールの赤いタグ

水沢 京子

仮出所指折り数え靴が鳴る

松原 松代

通夜の日に親父の預金聞かされて
祭り好き笛や太鼓が呼んでいる
無人駅降りて君待つ宿へ着く
待ち遠しい花のトンネル着物縫う
春風に乙女の心蝶になる
特大のエビ天踊る子の帰省
菜の花の小径二足のスニーカー
記念日に初めて食べる五つ星
旅支度妻の鼻歌止まらない
初デートおニューの靴も照れている
春風が崑寿のハートをノックする
樹木葬サクラ舞い散るボクの上
月一度あなたに逢いに花手桶

城野けんじ
磯崎ひろこ
高田 文子
金城風見子
谷口 勝
高田 文子
三浦みちえ
磯崎ひろこ
吉田 貞恵
萱野 澄彥
佐藤 公江
村上たけし
森山 裕子

伸び代があるとリハビリ煽てられ

「客」

三浦みちえ

湯の花に色気をもらい戻る部屋

金城風見子

ルンルンを詰めて閉まらぬ旅かばん

光永ひかる

老春の真つ赤なバラに一目惚れ

磯崎ひろこ

夢ひとつ抱いて少女は蝶になる

森山 裕子

朝摘みの皿のいちごが踊り出す

「人」 片柳 流里

敗けた日本笠置シヅ子が元気づけ

「地」 村上たけし

明日逢える鏡の中の赤い服

「天」 森山 裕子

「ラスト」

佐藤 青樹選

エンディングノートに記すありがとう

「秀」 三浦みちえ

あなたとのラストダンスは夢の中

松原 松代

ファイナーレは音楽葬に願いたい

森山 裕子

ラストワン慌てて買った不用品

岡田 茉莉

先輩の第2ボタンをもらい受け

山岸 順

一代記エンドロールに私の名

村上たけし

嘔吐きがラストに使う黙秘権

松原 松代

年賀状これで仕舞いと友の筆

杉村はるこ

疲れ顔窓に貼り付く終電車

水沢 京子

今日の日を悔いなく生きて陽が沈む

三浦みちえ

この恋はラストじゃないよまだ米寿

矢嶋もと之

この坂を下れば今日の一万歩

真田 宣子

窓を閉めお別れですと釘を打ち

君病んで二人最後の豪華旅

最後まで諦めず待つ拉致家族

特攻の末期の酒に母の顔

行き止まり尺取虫の転落死

天と地へプツツリ切れた赤い糸

戦友会貴様と俺でしめくくり

雑炊が鍋の余韻も平らげる

カップそば食べて聞いてた除夜の鐘

どん尻へ拍手喝采徒競走

はいラスト云われ侘しいコップ酒

妻よりも一足先に逝く願い

消え方のお手本ですとシャボン玉

城野けんじ

山口しだれ

森山 裕子

谷口 勝

佐藤 公江

後藤 夏美

佐藤 公江

水沢 京子

高田 文子

三浦みちえ

山下 西峰

佐藤 公江

吉田 貞恵

最期など知らぬからこそスクワット

「客」

水沢 京子

高度医療三途の川も途中下車

難波 栄子

返納へ未練を乗せてラストラン

塩見 和昭

主婦歴が鍋の底まで浚えさす

後藤 夏美

遊び癖止めると何度言っただやうら

鈴木 諄三

還暦で少し恋してそれっきり

「人」 鈴木 諄三

自分のことはいつも最後にしてた母

「地」 矢嶋もと之

シャルウィダンス ラストダンスはやはり妻 「天」 村上たけし

「ラスト」

三浦みちえ選

この坂を下れば今日の一万歩

「秀」 真田 宣子

戦友会貴様と俺でしめくり

佐藤 公江

履きなれた靴に感謝の声を掛け

山岸 順

話し合い重ねてみても別れ時

磯崎ひろこ

ラストランもうひと花の骨密度

磯崎ひろこ

七度目の干支を最後の年賀状

高田 文子

特攻の末期の酒に母の顔

谷口 勝

最後まで諦めず待つ拉致家族

森山 裕子

子のゴールわが腕だったあの頃よ

大西 旅人

君病んで二人最後の豪華旅

山口しだれ

終電を気にしながらのもう一杯

山下 西峰

人生の旅の終りに伊勢参り

片柳 流里

ご来光富士の登山もこれつきり

妻よりも一足先に逝く願ひ

また会おうこれが最後と知っていて

親友と別れの弔辞また会おう

フィナーレは音楽葬に願ひたい

窓を閉めお別れですと釘を打ち

そろそろへ棺の釘のかわく音

返納へ未練を乗せてラストラン

はいラスト云われ侘しいコップ酒

シャルウィダンスラストダンスはやはり妻

前ならえいつも最後で嫌だった

競争は苦手いつでもぼくはビリ

雑炊が鍋の余韻も平らげる

城野けんじ

佐藤 公江

小澤 昌子

谷口 勝

森山 裕子

城野けんじ

佐藤 青樹

塩見 和昭

山下 西峰

村上たけし

小澤 昌子

大西 旅人

水沢 京子

窓たたたく桜ふぶきのコンサート

「客」

光永ひかる

主婦歴が鍋の底まで浚えさす

後藤 夏美

長旅を終えて石ころ丸くなり

光永ひかる

眼は見えず耳も聞こえず歯も抜ける

佐藤 青樹

高度医療三途の川も途中下車

難波 栄子

この年じやもう一周り出来ぬ干支

「人」 城野けんじ

荷くずれを直し最後の男坂

「地」 吉田 貞恵

散り際に思い思いの裏表

「天」 光永ひかる

「優しい」

高田 文子選

温かいまま痛みが届く千羽鶴

「秀」 吉田 貞恵

またかよと優しい顔で怒ってる

藤原 健煌

いかつい顔が優しい声で「危ないよ」

金城風見子

シルバー席譲ってくれた女の子

鈴木 諄三

優しさは火鉢の中で待つパジャマ

北山 紅雲

言葉なし態度もなしの妻の愛

長谷川 智

きびしさはやさしいあなた裏返し

堀江喜代子

ひらがなのおつかいけんがセピア色

三浦みちえ

泣き虫に万能薬のママ呪文

水沢 京子

腕の中君の寝息はハ長調

吉田 貞恵

夫の浮気優しい妻を夜叉にさせ

矢嶋もと之

二日酔いシジミ汁には妻の愛

谷口 勝

いい人と言われやさしい眉をかく
子供等に全部お食べと母が言い
うれしな肌には優しい洗剤で
愛犬が滑らぬようにカーペット
LPGなけなし備蓄譲り合う
マザコンにならぬようにと手厳しく
遠くから席譲る声清し朝
優しさのお金がかかるケアーホーム
田舎カレーこころ優しくなれるかも
聞かなかった事にしておく友だもの
がんこ親父嫌われ役を買ってでる
男義の一肌脱いで風邪をひく
敵に塩送る気分には未だなれず

磯崎ひろこ
城野けんじ
小澤 昌子
鈴木 諄三
杉村 鶯友
城野けんじ
難波 栄子
山岸 順
大西 旅人
吉田 貞恵
山岸 順
塩見 和昭
佐藤 公江

胃潰瘍優しい嘘に騙される

「客」

三浦みちえ

優しさがあらぬ噂の勘違い

磯崎ひろこ

祈りこめ送る無名の義捐金

森山 裕子

優しさの裏返しだとコワイ妻

村上たけし

病む友へ優しい嘘を置いて来る

山岸 順

おだやかに出られ拳のしまいどこ

「人」 佐藤 公江

思いやり朽ち木の蕾ほころばせ

「地」 矢嶋もと之

ひらがなの言葉で母は子を諭す

「天」 森山 裕子

「優しい」

山岸 順選

ふうふうとお粥一口味ほのか

「秀」 岡田 茉莉

にんじんの煮えた甘さを妻と食む

大西 旅人

友達を優しく口説く飲み仲間

山口 昇柳

カーリングやさしい声かけ士気上がる

杉村はるこ

優しさが仇に取られて仲違い

小池カズ坊

料理出す母の目尻に深い皺

城野けんじ

病む人へスープ届ける弾む靴

難波 栄子

優しさも過ぎれば自立妨げる

北山 紅雲

ボクを嫌ってくれてありがとオミクロン

村上たけし

今ならば優しさと知る父の喝

高田 文子

大寒へ息子胸へと子犬入れ

山口しだれ

春の日の陽射しマスクでさえぎられ

福田 次郎

NOWAR 優しい心飛んでいけ
時により優しい言葉突きささる
聞かなかった事にしておく友だもの
おだやかに出られ拳のしまいどこ
脱炭素みんなで守る青い星
いかつい顔が優しい声で「危ないよ」
二日酔いシジミ汁には妻の愛
男義の一肌脱いで風邪をひく
就活で優しい上司探してる
何気ない優しい一言生きかえる
優しさをよく知っているサギ電話
おもてなし優しい人を演じきる
優しさが人の弱さをいぶり出す

清田アキラ
萱野 澄彥
吉田 貞恵
佐藤 公江
森山 裕子
金城風見子
谷口 勝
塩見 和昭
藤原 健煌
山下 西峰
澤木 雀空
磯崎ひろこ
光永ひかる

腕の中君の寝息はハ長調

「客」

吉田 貞恵

いい人と言われやさしい眉をかく

磯崎ひろこ

ひらがなのおつかいけんがセピア色

三浦みちえ

泣き虫に万能薬のママ呪文

水沢 京子

聞こえないふりしてあげる独り言

光永ひかる

思いやり朽ち木の蕾ほころばせ

「人」

矢嶋もと之

優しさに溺れてしまふ炊き出し日

「地」

松原 松代

ひらがなの言葉で母は子を諭す

「天」

森山 裕子

「捨てる」

矢嶋もと之選

「秀」

金城風見子

山口しだれ

松谷のん紀

佐藤 公江

真田 宣子

片柳 流里

堀江喜代子

三浦みちえ

塩見 和昭

山口しだれ

谷口 勝

森山 裕子

ピノキオは梨の芯までついに食べ

まだ咲くが植え替え時へ許してね

仏前へ釣り具処分のお伺い

捨てて来た猫の鼓動が手に残る

部屋の隅たまったグチを塵と投げ

貯め込んだ丸いお腹の大掃除

何もない何も持たない気持よき

断捨離の出来ぬ未練の写真帖

断捨離をもつたいないが躊躇させ

断捨離へこだわり捨てて前を向く

ゴミの日に宝探しの屋敷町

虚飾捨て遍路の旅へ第二章

ゴミ問題遙か宇宙も悩んでる

保護犬の瞳脳裏を離れない

便利さをすてなきや地球救えない

大国のメンツが増やす宇宙ゴミ

夫の遺品捨てて淋しい悔いばかり

秒針を捨てて老春謳歌する

捨てて得る春の衣を身にまとう

自分捨て他人に化ける美容外科

捨てた恋なんて見上げるあかね空

親捨てて遺産は捨てる訳じゃない

捨て切れぬ愛の鼓動の不眠症

身を捨ててこそ羽生結弦の夢叶う

核を捨て二度と降らすな黒い雨

水沢 京子

三浦みちえ

山岸 順

塩見 和昭

磯崎ひろこ

森山 裕子

山口しだれ

山岸 順

佐藤 青樹

佐藤 公江

城野けんじ

村上たけし

谷口 勝

断捨離をして良く分かる無駄遣い

「客」

谷口 勝

外来種名主のように沼に住み

佐藤 青樹

メンツ捨て素顔のまままで生きてみる

塩見 和昭

エゴイズム捨てると温い風が吹く

高田 文子

良妻の仮面を放る時がある

佐藤 公江

捨てられる身になってみる捨てられぬ

「人」 村上たけし

駅弁に捨てた故郷を思い出し

「地」 大西 旅人

捨て去って瞼に影が揺れている

「天」 後藤 夏美

投句者氏名（敬称略）

三浦みちえ	清田アキラ	真田 宣子	大西 旅人	金城風見子
山口しだれ	谷口 勝	山口 昇柳	福田 次郎	吉田 貞恵
塩見 和昭	城野けんじ	長谷川 智	矢嶋もと之	片柳 流里
難波 栄子	森山 裕子	松谷のん紀	萱野 澄ゑ	堀江喜代子
鈴木 諄三	小池カズ坊	磯崎ひろこ	後藤 夏美	水沢 京子
佐藤 青樹	佐藤 公江	小澤 昌子	高田 文子	両角 節児
杉村 鶯友	岡田 茉莉	杉村はるこ	藤原 健煌	光永ひかる
松原まつよ	北山 紅雲	山下 西峰	澤木 雀空	村上たけし

山岸 順（41名）

御芳志御礼（順不同）

佐藤 公江様

佐藤 青樹様

うらやす川柳会様

浦安とみおか川柳会様

カレッジ川柳会様

浦安市内・川柳サークル紹介

○ うらやす川柳会 ・毎月第4金曜日…午後1時～4時

中央公民館・講師（佐藤 公江）

○ 浦安とみおか川柳会 ・毎月第2火曜日…午後1時～4時

富岡公民館・講師（佐藤 青樹）

○ カレッジ川柳会 ・毎月第4水曜日…午後1時～4時

美浜公民館・講師（佐藤 公江）

主催…浦安川柳連盟